

指定管理者モニタリング結果報告書（令和 7 年度）

- ・ 施設名 ： 丸亀市猪熊弦一郎現代美術館
- ・ 施設所管部課： 協働推進部まなび文化課
- ・ 指定管理者 ： 公益財団法人ミモカ美術振興財団

区 分		内 容
実施時期		定期モニタリング：業務報告書にて逐次確認 随時モニタリング：令和 8 年 6 月 24 日（水）に実施
実施方法		定期モニタリング：業務報告書をもとに、管理業務の達成状況を確認 随時モニタリング：指定管理業務状況聴取表などをもとに聞き取り調査を実施
実施結果	① 施設の状況	保守管理業務（警備・清掃・保守点検等）については、専門性の確保及びコスト縮減の観点から外部委託により実施されており、施設の安全性及び機能の維持が図られている。また、老朽化に伴う設備・機器の不具合については、把握、管理されており、令和 8 年度の長寿命化工事により抜本的な改善を図る予定である。
	②施設の利用状況	令和 7 年度は、大阪・関西万博及び瀬戸内国際芸術祭の影響等により来館者数及び収入は増加し、収支は黒字となっている。一方で、市民利用については伸び悩みが見られる。
	③施設利用者の意向把握と対応	来場者アンケート等により、利用者の意見・要望等の把握に努めている。令和 7 年度の入館料改定に対し、一部意見も見られたものの、現時点では利用への著しい影響は確認されていない。
	④管理体制	常務理事（常勤）1 名、事務所 17 名（正規 9 名、臨時 8 名）フロア業務 4 名（正規 1 名、臨時 3 名）計 22 名の体制である。経験の浅い職員が採用されており、現時点では育成途上にあるため、即戦力化には一定期間を要する状況にある。また、育児休業や研修に伴う一時的な人員不足が生じているが、臨時職員を配置することにより対応している。
	⑤管理経費	来館者増加により収入が増えたことにより、収支は黒字となった。一方で、物価高騰（特に輸送費、制作費）による支出増が顕在化している。
	⑥緊急時の対応について	避難誘導訓練を全職員に加え、派遣スタッフ、施設管理職員、カフェ・スタッフ参加のもと実施。南海トラフ地震を想定した行動指針を策定済み。浸水対策については一定の設備を有するが、想定最大規模への対応までには至っておらず、運用面での対応が重要。
	⑦そ の 他 （指定管理者の業務遂行能力等）	指定管理者本体の業務遂行能力に大きな問題はなく、指定管理業務の継続的な実施に支障は見られない。
	⑧改善指示事項	市民利用の促進に向け、ターゲット層の明確化と効果的な広報・企画の実施を検討すること。 学芸員については、専門的な知識や調査研究の成果を、市民に向けて積極的に発信をするとともに、その役割や業務内容についても広く周知し、活動の理解促進に努めること。
実施結果に対する所管課の意見		利用者数の増加や収入の確保も重要であるが、市民が継続的に施設を利用し、その魅力や価値に触れ続けられる関係性の構築が求められる。そのため、展示内容の工夫や情報発信を充実させ、市民利用の促進を図りたい。 また、市民利用のさらなる促進に向け、施設利用アンケートの回収率向上に努めるとともに、利用者ヒアリング等の実施手法についても検討し、市民ニーズの把握及び分析に努められたい。
今後の施設管理に反映(改善)する事項		市と連携した広報や情報発信を強化し、学芸員の活動や施設建築としての魅力など美術館の特色が効果的に伝わるよう発信内容や手法を工夫し、市民の関心を喚起し、来館促進につながる取組を推進する。